都私幼連だより
こどもがまんなか PROJECT
4
2016 ／ April
Kindergarten Information Development Society
東京都私立幼稚園連合会
編集発行人　友松浩志　〒102－0073　東京都千代田区九段北4－2－25　私学会館　TEL03(3262)3666・FAX03(3264)6195

会長就任ごあいさつ

会長　友松浩志



昨年末、入谷前会長より残任期間の会長職をお引き受けして3ヵ月余。その間、都議会の先生方や都の行政の方々と幾度となくお会いし、予算復活のお願いなどを重ねてまいりました。そうする内、次期会長職についてお話がありました。この3ヵ月、振興対策の場面で、自らの非力を実感すること度々でしたが、折衝にお伺いするたびに、多くの議員の先生方、行政の皆さんから、「幼稚園がんばれ」の激励のお言葉をいただいてまいりました。そこで強く感じたのは、私立幼稚園にとって、先輩の諸先生方が築いてこられたこうした多くの方々との信頼関係が、いかに大切かということでした。

その信頼関係を継続的に維持していくため、残任期間という短期だけでなく、次期会長職をお引き受けすることにした次第でございます。浅学非力の身で、皆様のお支えがなければ、とても務まる職ではございませんが、幸いに5人の信頼できる副会長先生にご就任いただくことができました。

また各常任理事の先生方、理事の先生方、地区長の先生方、委員の先生方にもご就任いただいております。難局ではありますが、私立幼稚園の安定的・発展的な運営のために、それぞれの先生方のお力を結集して、誠心努力してまいる所存でございます。皆様のご理解と、引き続きのご協力を切にお願い申し上げます。

新年度の事業計画は正式に定められておりますが、振興対策を中心に、当面の課題について私見を記しておきます。

❶ 新制度開始1年目（平成27年度）の各園、各地区の結果・状況について整理分析し、その対応について正確な情報提供をしてまいります。

東京は人口減少という全国的潮流のなかで、特異な恵まれた環境にあると言われます。とは言え、東京においても子ども人口の減少は現実の問題です。新制度をただ批判するのではなく、その問題点、課題を正確に分析・判断し、より良い方策について知恵を出し合っていきたいと思います。

❷ 幼稚園が実践してきた様々な子育て支援（低年齢児保育、預かり保育等）について、各方面に周知し、その継続・発展について模索する。

幼稚園が子育て支援にいかに努力し役立ってきたか、社会的にまだ理解されていないところがあります。幼稚園のままで、もっとできることがあるのではないか。幼稚園という恵まれた環境を、もっと生かす方法があるのではないか。低年齢児の保育、預かり保育等についてアピールし、社会的理解を得る努力をしていきたいと思います。

❸ 幼児教育振興法の制定を実現し、その対応について研究・実践する。

夏の参議院議員選挙において推薦候補が勝利することは、幼児教育振興法の制定のためにも絶対条件です。選挙がより大規模なものになれば、その結果は幼稚園の存亡に関わります。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

振興法の内容については、詳細に分析し、幼児教育の振興において、私立幼稚園が中心的役割が果たせる状況を作っていきたいと思います。

（神田寺幼稚園・千代田区）

副会長就任ごあいさつ



各委員会との連携のもと 六つの重点項目を実施

総務委員会担当
認定こども園委員会担当
町山芳夫（まどか幼稚園・葛飾区）

会長推薦により引き続き副会長に就任しました。総務委員会及び認定こども園委員会を担当します。

会長が行動しやすいように会長を補佐するとともに、総務委員会・認定こども園委員会及び各委員会と共に会務の運営がスムーズに運ぶようにしてまいります。

昨年4月に子ども・子育て支援新制度がスタートしましたが、私学助成を引き続き受けるのか、施設型給付を受けるのか選択を求められ、少なからず混乱がありました。

私学助成でも施設型給付でも、東京都の幼稚園と他道府県の幼稚園では事情が違うところがあります。その点を踏まえ、総務委員会・認定こども園委員会の以下の重点項目を実施してまいります。

◎会議の活性化
◎リニューアルしたＷｅｂの活用
◎東日本大震災・原発事故の被災園への継続した支援
◎「こどもがまんなかプロジェクト」の推進
◎子ども・子育て支援新制度への対応と都私幼連の組織のあり方を検討
◎質の高い幼児教育を目指す認定こども園の課題の解決



各園における 更なる資質向上の取り組みに尽力

教育研究委員会担当
加藤篤彦（武蔵野東第二幼稚園・武蔵野市）

この度、副会長（教育研究委員会担当）の重責を拝命しました。皆さまからの負託に応えられるように、しっかりと取り組んでまいります。

言うまでもなく、幼稚園であることの根幹は幼児教育そのものにあります。私たちは未来に向かって育つ子どもたちの健やかな成長を願って、「子どもをまん中」「子どもの最善の利益」という視点を大切にして取り組んできました。世界的にもＯＥＣＤのエビデンスの構築によって、幼児教育の重要性が広く認識されるようになりました。折しも国においては、「幼児教育振興法」（仮称）の制度に向けて動きが進んでいますし、平成30年度「幼稚園教育要領」改訂に向けても重要な時期を迎えています。

このような国の動向を把握しながら、また全日本私立幼稚園幼児教育研究機構と東京都私立幼稚園教育研修会との二つの公益法人との連携のもとに、公教育を担っている各園の幼児教育の質が、いっそう向上して行かれますように、また私たちの営みが広く都民の皆さまにも理解いただけるようにとの思いを持って取り組んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



私立幼稚園教育の振興を 訴えます

振興対策委員会担当
認定こども園委員会担当
内野光裕（清瀬ゆりかご幼稚園・清瀬市）

私たち幼稚園の第一義的役割は、子どもたち一人ひとりの生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の実践であり、不断に研鑽・研修に努め、質の向上を図ることにありますが、価値観の多様化・生活様式の多様化・働き方の多様化に伴い、幼稚園においても預かり保育の実施や認定こども園への転換など、時代の要請・地域社会の要請に対応して、子育て支援や社会保障機能の役割にも真摯に取り組んでまいりました。

都政のご理解のもと、東京都においては小学校就学児童の6割近くが幼稚園卒業生であり、そのうちの9割が私立幼稚園を選択しています。しかしながら、私立幼稚園教育に対する都民の高い期待に応え続けるためには「私立幼稚園がその特性を生かした多様な選択肢を都民に提供し、保護者が自由に選択できる」ための更なる公的支援が不可欠です。

この度拝命した、振興対策委員会と認定こども園委員会の担当副会長の職責は、都政に訴えご理解を賜ることに尽きる、と認識しております。

皆様のご指導ご協力、宜しくお願い申し上げます。



幼児教育の更なる充実願う

広報委員会担当
「施設型給付」幼稚園特別委員会担当

滑川良一（北糀谷幼稚園・大田区）

この度、個人立協議会より推薦を受けて副会長に就任致しました。

副会長という重責を誠心誠意務めて参りたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

これまで、個人立協議会・振興対策委員会・経営研究委員会を経験してきましたが、私にとりまして未知なる広報委員会を担当致します。円滑な会務の運営に努力致しますので、皆様のご協力をお願いします。

また、昨春にスタートした子ども・子育て支援新制度の「施設型給付」幼稚園の特別委員会も併せて担当することになりました。

子ども・子育て支援新制度においては、整備が整わない中、実施が先となり不安を抱えての移行でした。手探りのなか進めていく中で、皆様におかれましてもご苦労の多かったことと存じます。

また、消費税増税による財源・地域の実情に応じて市区町村が実施する一時預かり事業・運営上の様々な決定事項の遅れ等問題は山積しております。皆様のご意見をお聞きして、より良い制度になるように努めて参ります。

未来を担う子どもたちのために、幼児教育並びに制度の更なる充実をはかるため、皆様のご支援・ご協力を得て邁進して参ります。



人材確保・育成に尽力

経営研究委員会担当

佐々昌樹（まこと幼稚園・中野区）

今年度も引き続き、経営研究委員会担当の副会長を務めさせていただくことになりました。友松会長を補佐し、精一杯職務に務める所存でございます。

昨平成27年4月より実施された、子ども・子育て支援新制度は、いまだにはっきりとしない状況があり、今後どうなっていくのか不透明なところがあります。幼児教育、子育ては、この新制度の中で、大きな節目を迎えておりますが、私立幼稚園（認定こども園を含む）が幼児教育の主たる担い手であることに変わりはありません。そのために教育内容の更なる充実を目指し、優秀な人材の確保・育成が肝要であることは言うまでもありません。

しかしながら、幼稚園教諭を確保することが、年々難しくなってきているのが現状です。経営研究委員会では、長年この大きな課題と取り組んできております。優秀な人材を安定して確保するために、引き続き全力を尽くしたく存じます。何卒、今まで以上にご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年度 後継者宿泊研修会に参加して

平成28年2月26～27日

1日目講師：田中 裕子 氏（ANAインターコンチネンタルホテル東京人材開発部トレーニングマネージャー）

2日目講師：松本理寿輝氏（ナチュラルスマイルジャパン株式会社代表取締役）







《1日目》

国際的に展開するホテルでは、文化・習慣の違いが如実に現れるので臨機応変な姿勢が必須。これが全従業員の大切にしているホスピタリティマインド。

顧客の要望に応えられない場合は「最大限の努力をして見せる」ことが重要。ただ「できない」と答えるのではなく、他の方法を考え抜き、魅力的な代替案を提示する。

「自分たちのブランドを理解し、常に意識すること」が大切。各ホテルの内容を追求し続けることがブランドを作っていく。幼稚園であれば各園の保育目標の理解・実践を深めていくことに当たるだろう。

《2日目》

講演と「まちの保育園六本木」施設見学。「まちづくりの拠点になること」「地域の資源を有効に生かすこと」を保育園運営上の理念とした。

地域住民とコミュニケーションをとり、まちぐるみで保育をする形が理想。その結果、オープンな保育園になった。一方でプライバシー・セキュリティ面も配慮が必要で、バランスには気を遣った。

幼児期の教育がその後の人生に大きな影響を及ぼすということが示されている。私たちはどのような環境を用意するべきか。

これからの教育は知識量から知識活用へと舵を切って行くだろう。答え探しよりも問い探しをする力、即ち、考える力がこれからは重要。

山本秀行

（明愛幼稚園・杉並区）

第47回 東京都私立幼稚園連合会
第85回（公社）東京都私立幼稚園教育研修会

平成28年度「総会（予算）」を開催

平成28年3月9日／私学会館

都私幼連

先に都私幼連は私学会館において予算総会を角本総務委員長の司会により開会する。

第1号議案「平成28年度事業計画（案）」の上程にあたって友松会長より包括的な説明があった後、常置委員会及び特別委員会、設置者別協議会、地区長会から各事業計画（案）の説明後採択に移り承認された。第2号議案「平成28年度収支予算書（案）」・第3号議案「平成27年度収支補正予算（案）」については、髙畑事務局長よりの説明の後採決に移り承認された。第4号議案「平成28・29年度正副会長の承認及び監事の選任」については角本総務委員長からの説明の後審議となり、異議なく承認された。

（公社）都私幼研

引き続き（公社）東京都私立幼稚園教育研修会総会が行われた。友松理事長より挨拶の後、会則に基づいて友松理事長が議長に就任し、第1号議案「平成28年度事業計画（案）」については友松理事より説明があり、教研所管部分については加藤常務理事より説明があり、幼稚園運営・管理研究については各担当の先生から説明があった。

第2号議案「平成28年度収支予算書（案）」については角本理事より指名された髙畑事務局長より説明後審議され、1・2号議案は異議なく承認された。

広報委員長・田澤　茂

（東一の江幼稚園・江戸川区）

宗教法人立協議会研修会・全体会

神社の大樹に囲まれて

平成28年2月22日／東郷幼稚園（渋谷区）

JR原宿駅から全国の若者で賑わう竹下通りを少し下ると、左前方の小高い場所に樹木に覆われた東郷神社の社殿が見えてきます。その広い境内に、付属の教育機関として東郷幼稚園はあります。眼下の喧騒をよそに、静寂な環境の中に子どもたちを包み込むような暖かさを感じさせる幼稚園です。今回の宗法協議会では、その東郷幼稚園さんを見学させて頂きました。

その日、子どもたちは全員が入り混じっての対抗リレー競争に挑んでいました。一抱えもあるような手作りの雪だるまやケーキなどをバトン替わりに抱え、走り終えて仲間にタッチした子どもたちの表情は、満足そうな笑顔で走る仲間に声援を送り続けていました。

「園長に就任してまだ日も浅く行き届かないところもありますが、先生方の協力を得ながら、教育課程に基づく所定の活動を通して総合的に人間形成の基礎教育に当たっています」と新井園長先生は話されていました。

平日は9時15分から午後2時まで。給食は年長児（週2回）・年中児（週1回）を対象としているとか。また、預かり保育の他、未就園児クラスを、月に1度実施。園バスはなく、保護者が送り迎えし、しばらく我が子の活動ぶりを楽しそうに見ていることもあるそうです。閑静で明るい環境に恵まれた素敵な幼稚園でした。

（事務局）










園舎のクリーニングはおまかせください!!
Kawai Clean SAT
カワイ　クリーン　サット
弊社は長年にわたり「健康教育」を企業理念として、肝油ドロップを全国の園児の皆さまに、先生方のご理解のもと提供させて頂いております。その経験をいかし、より衛生的で健康的な保育環境を提供するクリーニング事業を手がけております。
先生方の手の届かない場所もおまかせください！
作業内容
○床ワックスがけ　○トイレ洗浄
○エアコン分解洗浄　○厨房
○砂場抗菌処理　○窓ガラス
○カーペット　○その他お掃除全般
※お掃除全般のご相談・お見積は無料です。
プロならではの手際よさと、技術とノウハウを駆使した安全で有効なサービスをぜひ実感してください。
肝油ドロップ　発売元
河合薬業株式会社　Kawai Clean SAT
〒164-0001　東京都中野区中野6−3−5
TEL. 03-3365-1156　FAX. 03-3365-1180

御一報次第カタログ進呈

ピーポッポ印 園服・園帽・トレーニングウエア・カバン製造元
株式会社 成増園服研究所
東京都板橋区大山金井町43－1 TEL（03）3957-2176（代）

提言
Proposition

狂言を通して伝えたい『心意伝承』の学びの心



和泉流宗家 史上初 女性狂言師

和泉淳子（いずみ じゅんこ）さん

史上初の女性狂言師。狂言和泉流 19 世宗家和泉元秀の長女として生まれる（20 世宗家・和泉元彌は弟）。3 歳で初舞台。昭和 60 年（1985）、大曲「三番叟」を披（ひら）く。翌 61 年「奈須與市語」を披く。平成元年、国立能楽堂において「史上初女性狂言師誕生記念公演」を行う。同年、文部大臣より感謝状を受ける。平成 6 年「釣狐」を披く。平成 13 年、女性狂言師協会設立し代表に就任。平成 25 年「花子」を披く。国際文化交流としての海外公演は 12 ヵ国 30 都市に及ぶ。幼、小、中学向け鑑賞教室に力を入れる。日本女子大学文学部国文学科卒業。長女（慶子）、長男（和秀）も初舞台を踏む。

狂言は伝統芸能 唯一の喜劇

――狂言と言えば日本を代表する古典芸能ですが、皆さん意外と触れる機会が少ないように思われます。きょうは狂言の楽しみ方、観賞の仕方など教えていただき、誰もが親しめて気軽に楽しめれば良いな、と思っています。先ず、狂言とはどういうものなのか、基本的なことからお伺いしたいと思います。

和泉　狂言は、「礼に始まり、礼に終わる」芸能であり、日本芸能の原点と言われています。ルーツは奈良時代、中国の唐という国の「散楽」という芸能が日本に伝来し「猿楽」という芸能が興りました。その猿楽から生まれたのが「狂言」という芸能です。室町時代のことです。

ご存知とは思いますが、狂言には、二つの流儀があります。一つは大蔵流。今一つが和泉流です。江戸時代には「鷺流」という流儀もありましたが、現存しているのは、この二つだけです。「狂言」という字も、いつの時代か定かではありませんが「教言」と表した時代もあったと聞いています。

本来「狂言」というのは仏教用語からきたものなのです。お釈迦様の言葉を「実語」と言うのに対し、滑稽噺にしたり、飾り立てたりしておもしろおかしくする「狂言綺語」という言葉から取ったのが「狂言」の由来だと言われています。

昔は、能と狂言を『対』で演じられていたのですが、第二次世界大戦以降から別々にも演じられるようになりました。と申しますのも、能と狂言は全く性格の異なった芸能だからです。

日本の伝統芸能と言えば、歌舞伎・文楽・能・狂言・日本舞踊・落語などがありますが、これらを「古典芸能」と一括りにして呼んでいます。その中にあって唯一の喜劇と言えるのが狂言です。日本人はユーモアのセンスがない、笑いの少ない民族だと世界から評されていますが、とんでもありません。室町時代から脈々と「狂言」という笑いの芸能を楽しみ、伝え続けてきたのです。「日本人は笑いの民族だぞ！」と大いに威張ってください（笑）。因みに、能狂言を専門に上演する能楽堂は全国で百カ所ほどあります。数十席程度の小さなところもあれば、千駄ヶ谷にある国立能楽堂のような大きなところもあります。

――室町時代から続く文字どおりの古典芸能なのですね。狂言は、やや風刺をおびた笑いの芸能のようにも私は感じているのですが。

和泉　そうですね。風刺的要素も盛り込まれています。

少し和泉流の話になりますが、和泉流は今から５７８年前、花園天皇の御世に興きた流儀です。流儀のおこりは京都。当時の都です。芸能の中心も京都でした。近江源氏の流れをくむ佐々木岳楽軒を流祖として近衛という公家の庇護を受けていました。ですから、活躍の場も京都が中心でした。江戸時代に尾張徳川藩に召し抱えられ名古屋に移りましたが、「武士は人前で笑うものではない」という封建制社会の中でしたから、今とはやや違ったものだったのかも知れません。狂言も笑いの中に風刺を込めて演じた面もあったと思います。しかし、何時の時代にあっても人間の営みが笑いの芸術として描かれていると受け止めていただき、今日に繋がってきていると思います。

――おっちょこちょいの人物が登場したり、難しい言葉を独特の言い回しで語るのですが、不思議と分かってくるものですね。

和泉　室町時代、庶民が使っていた言葉がそのまま狂言の言葉になっていますからね。６００年ほど前とは言っても多くの庶民が喜怒哀楽を共感し、ごく普通に使ってきた言葉ですから、滑稽味を帯びながらも人の心の中に入り込んでいくのではないでしょうか。

――和泉さんは女性初の狂言師になられたわけですが、男性社会の中でのご苦労も多かったと拝察しておりますが・・・。

和泉　今も苦労はありますけどね。ご存知のように、歌舞伎の世界では女人禁制となっていますし、能にも女性を禁止している流儀があります。しかし、狂言の世界では元々女性を禁止してはいないのです。ただ、これまでの時代背景・社会背景の中では女性が舞台に立てる機会

がなかった。つまり、舞台に立つには多くの時間を費やして、稽古や修行を積まなくてはなりません。また、学問や体力差等も男性とは格差があって、残念ながらそういう機会が与えられなかったということでしょう。女性の役割も家庭に留まるところが多かったと考えます。

私の場合、時代の後押しという幸運にも恵まれた、と言うことだと思います。おそらく両親でさえ、女性が活躍できる時代を見越して3歳の私に初舞台を踏ませたとは思いません。和泉流では3・4歳になると「靭猿」という狂言の子猿役で初舞台を踏むことになっています。1歳半から稽古を始めて3・4歳で初舞台、というわけです。その、猿を修行してから「釣狐」を演じます。和泉流の修行課程を表す言葉に「猿に始まり、狐に終わる」があるのです。

私は「釣狐」という曲を25歳で披きました。学問で例えると、大学の卒業論文のようなものです。そこまでの修行の過程でも免状を取り、登竜門になる曲を披かなくてはプロにはなれません。プロになるための「三番叟」を15～16歳で演じ、成人になって国立能楽堂で「末広がり」の果報者という役で舞台に立ち、それから成人プロとして活動しています。初舞台以来、43年の舞台生活を続けています。今は私の娘と息子にも狂言を教えています。私の経歴紹介みたいな話になりましたが、狂言を少しでも身近に感じていただければと思い、あえてお話させていただきました。

素晴らしい感性と逞しい想像力で鑑賞

――ありがとうございます。狂言に親しみを感じてきたように思います。ところで、そのお嬢さんの和泉慶子さんの舞台も拝見させていただきました。本当に感激しました。以前、私どもの幼稚園で公演していただいた時、子どもたちは瞬間的に感じて笑っているようです。私は「そうなのかな?」と言葉を頭で考え納得してから笑うのですが、子どもは違う（笑）。

和泉　子どもたちは、本当に心と体が直結しているというか、面白いと思った時に即反応します。言葉も室町時代の庶民の言葉、しゃべり言葉ですからね。今の言葉に置き換えることもできるのですが、例えば狂言では「よいや、よいや」と2回繰り返して言う言葉ですが、現代風に言うと「いいぞ！いいぞ！頑張れぇ！」と言う場面です。「さよなら」も「さらば、さらば」となります。

同じ古典芸能でも歌舞伎と狂言では持っている雰囲気も描く世界も表現も違います。音響効果にしても、今でもマイクなどは一切使いません。自分の声と言葉（セリフ）、動き（所作）で表現していくところが、小さいお子様にも共感していただく部分が多いのではないか、そう思っています。大人よりももっと素晴らしい感性と逞しい想像力で舞台を観てくれているのだろうなと思うと、こちらの方が元気をもらっている感じですね。

――また「びょうびょうびょう」は何の鳴き声だと思う、という和泉さんの問いかけに、子どもたちは犬とかタヌキなどと鳴き声をあげながら興味津々で応えていました。また、お辞儀の仕方など礼儀作法なども、和泉さんの毅然とした態度を観て、子どもたちも一生懸命になって学ぶ姿が今も印象に残っています。舞台装置なども本物の舞台のように雰囲気も出ていて、素晴らしい経験になったと思います。あの後、子どもたちは「よいや、よいや」と暫くはブームになりました（笑）。

和泉　幼稚園などに行く場合には出来るだけ本物に近い形をと思っています。松の背景や柱、橋がかり。また土足のホールですと檜舞台の代わりになる縦目の板ロールなども持参します。すり足で動きますので、縦板になるように全部敷き込むわけです。目に見えない心を、型を通して表現するわけですから、きちんとした形でやらなければなりません。また、お稽古体験も子どもたちにきちんとした礼儀作法を身に付けてもらいたいので取り入れています。本物を伝えるには、技の伝承だけでなく、心の伝承も必要なのだと思います。私もそうでしたが、親ができること、それは真剣に取り組む姿勢をきちんとした態度で見せること。向き合って稽古するときは子どもだからといっても容赦しないという意気込みで接すること。これは芸能の世界だけでなく、すべてに通じることではないでしょうか。「心意伝承」という言葉があります。師匠から弟子へ、親から子へ、という流れの中で一生懸命に物事に取り組み、真剣に教わるという姿勢の中からいろいろなことを学び取っていく。そして一番大事なことは、「素直な心」です。これこそが狂言を通して伝えたいと願っているものです。

狂言は世界のどこでも笑いを起こす

――奥が深いのですね。稽古も大変でしょうね。演じる時間は一曲でどれくらいですか。

和泉　15分から30分くらいのものが多いですね。稽古は基本的には毎日ですが、演者のキャリアにもよります。通常の曲ですと1ヵ月程度ですね。子どもに教える時は、一つずつ丁寧に教えていかなければなりません。

――いろいろな国で日本の狂言を紹介されているとお聞きしていますが…。

和泉　これまで12カ国30都市で上演しました。狂言は日本だけでなく、海外でも理解していただけます。グローバルヒューマニティーとでも言いましょうか。人間として万国共通の人間性を描いているというところで、どこの国でも受け入れてくださいますし、笑いが起こります。

日本の文化と言ってもいろいろあります。それぞれが世界に誇れる文化だと思います。伝統芸能は、そこに流れる日本人の姿勢であると言えます。海外では、特にその辺りをアピールし、文化交流に少しでも貢献できれば、と思っています。

――ありがとうございました。

★インタビュー＝広報委員・野間久美子（江古田幼稚園・練馬区）

都私幼連の動き

【3月】

3／1　園長・主幹研修会
3／2　幼稚園教育研究会
3／8　「たのしいなつ」編集会議
3／9　常任理事会
　　理事会
　　連合会総会
　　（公社）総会
　　施設型給付園特別委員会
3／23　新規採用教員研修会
3／24　広報委員会
3／28　経営研究委員会

【今月】

4／5　認定こども園委員会打合せ会
4／8　学校法人立協議会正副幹事長会
4／14　学校法人立協議会運営委員会
4／15　振興対策委員会
　　経営研究委員会
　　幼稚園教育研究会
4／20　教育研究委員会
　　認定こども園委員会
4／24　幼稚園フェア
4／25　都私幼連・研　監査会
　　正副会長打合せ会
　　総務委員会
4／26　広報委員会

幼稚園で大切にしたい事

梨花幼稚園（稲城市）
主事　川﨑 琢磨

「幼稚園で働き始めて随分と時間が経ったなあ」と最近感じます。同時に「自分は、まだまだだなあ」と思います。幼稚園には、「人の為になる仕事」をして未来の社会を支えていく人がたくさんいます。何の仕事でも共通すると思うのですが、「人の為になる仕事」をするには、良い人間関係がとても重要です。だから良い人間関係を築くにはどうすれば良いのか、よく考えます。

●相手が嬉しくなる挨拶ができる事　●素直に相手を受け入れる事　●関わる人が気持ちよくなれる事　●気持ちの良い意見交換ができる事　●相手の立場だと「どう思うだろう」と考える心を忘れない事　●謙虚に生きつつも自分の気持ちも大切にする事

今の自分でも難しい事を並べましたが、このようなことができることが大事ではないかと思います。そして、このようなことができる人を目指しています。このような人に近づくことができれば、良い人間関係を築く事ができると思うからです。

次に、物事の本質的な部分を大事にしていきたいです。例えば、さつま芋掘りを行う際、収穫だけの行事にしたくないという思いがあります。さつま芋の苗を植え、除草しながら追肥も関わり、茎が伸びてくる過程も観察しながら、お芋がどうなっているのか想像をする…このような経過を子どもにも感じてもらいたいと思っています。お芋はただ土の中にあるのではなく、時間をかけて手入れをするからお芋ができる事、つまり、食べ物は人が関わって大事に育てているから、「みんなが食べる事ができるのだよ」という事を子どもたちに伝えていきたいです。

何も疑問を持たずに、日々の流れに任せてしまったり、ただ例年通りに仕事をしている事があります。自分自身、見過ごしたり、見て見ぬふりをしてしまっている事もあります。「なんで！」という気持ちを大切にしたいと考えています。

昔の自分と今の自分を思い浮かべると、●物事をゆっくり考えることができるようになった気がします。●多少は人の気持ちを汲めるようになったような気がします。●向かっていく方向性が、明確になってきたようです。●プラス思考での「仕方ない」と思える事が増えました。●自分を許すことが、少しできるようになった気がします。



これからも、多くの方々に支えて頂きながら、共に歩んで行きたく思っております。こんな事を想いながら、幼稚園でお仕事ができる自分はとっても幸せです。今後とも宜しくお願い致します。

編集後記

◆ポカポカと春の暖かい風が園庭を吹き抜け、卒園式では卒園生の誇らしげな姿に、惜しみない拍手をおくった。小学校での新しい環境の中で、一人ひとりが十分力を発揮して欲しいと願う◆〝子どもたちが将来なりたいもの〟のある調査で男子の1位が6年連続「サッカー選手」、女子は「ケーキ屋さん」「保育園・幼稚園の先生」と続く。幼い頃に幼稚園の先生に憧れ、晴れてスタートした先生もこの慌ただしい時期、子どもたちの動きに翻弄されていることだろう。貴重な人材をしっかりとフォローしていきたいと思う◆卒園生保護者に『小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売らされました。』（ワイヤーオレンジ発行、1400円＋税）という絵本を紹介した。病に罹った母親が子どもが一人でも生きていけるように心を鬼にして…という実話が元になっている。あとがきに、子どもを「たくましい子」に育てて欲しいという保護者へ向けたメッセージが書かれ、作者の母親への感謝が伝わる本である◆子どもとの向き合いかたを振り返る親も多い。新制度がスタートして2年目、新たな課題も出てくるのだろう。子どもたちの未来を見据えて様々な情報にアンテナを張って行かなくてはならないと思う。（野間）